



HTTP または HTTPS を使用したファイルの転送

Cisco IOS Release 12.4 では、使用する Cisco IOS ソフトウェアベースのデバイスとリモート HTTP サーバとの間で、HTTP や HTTP Secure (HTTPS; HTTP セキュア) プロトコルを使用してファイル転送を行う機能が準備されています。Cisco IOS Command-Line Interface (CLI; コマンドラインインターフェイス) コマンドのうち、ファイルシステム プレフィックスを使用する **copy** などのコマンドで、送信元や宛先を指定する際に HTTP や HTTPS を使用した位置指定が可能になりました。

機能情報の入手方法

最新の機能情報と注意事項については、ご使用のプラットフォームとソフトウェア リリースに対応したリリース ノートを参照してください。この章に記載されている機能の詳細、および各機能がサポートされているリリースのリストについては、「[HTTP または HTTPS を使用したファイル転送の機能情報](#)」(P.14) を参照してください。

プラットフォームのサポートおよび Cisco IOS と Catalyst OS ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

この章の構成

- ・「[HTTP または HTTPS を使用したファイル転送の前提条件](#)」(P.2)
- ・「[HTTP または HTTPS を使用したファイル転送の制約事項](#)」(P.2)
- ・「[HTTP または HTTPS を使用したファイル転送について](#)」(P.2)
- ・「[HTTP または HTTPS を使用したファイル転送方法](#)」(P.2)
- ・「[HTTP または HTTPS を使用したファイル転送の設定例](#)」(P.10)
- ・「[その他の関連資料](#)」(P.11)
- ・「[HTTP または HTTPS を使用したファイル転送の機能情報](#)」(P.14)

HTTP または HTTPS を使用したファイル転送の前提条件

リモート HTTP サーバへ、またはサーバからファイルをコピーするためには、使用するシステムが HTTP クライアント機能をサポートしている必要があります。この機能はほとんどの Cisco IOS ソフトウェアイメージに統合されています。HTTP クライアントはデフォルトでインエーブルになっています。現在のシステムが HTTP クライアントをサポートしているかどうかを判断するには、**show ip http client all** コマンドを発行します。このコマンドを実行できれば、HTTP クライアントがサポートされています。

埋め込み HTTP クライアントのオプション設定と HTTPS クライアントのためのコマンドも存在しますが、HTTP または HTTPS を使用したファイル転送機能を使用する場合は、デフォルトの設定で十分です。HTTP または HTTP クライアントのオプション特性の設定については、「[関連資料](#)」(P.12) を参照してください。

HTTP または HTTPS を使用したファイル転送の制約事項

ネットワークからネットワークへのコピーができないといった **copy** コマンドに存在した制限は、HTTP または HTTPS を使用したファイル転送機能でも有効です。



(注) Cisco IOS 12.4T の **copy** コマンドは、古いバージョンの Apache サーバ ソフトウェアと組み合わせて動作させることができません。**copy** コマンドを使用するには、Apache サーバソフトウェアをバージョン 2.0.49 以降にアップグレードする必要があります。

HTTP または HTTPS を使用したファイル転送について

HTTP または HTTPS を使用してファイルを転送するには、次の概念について理解しておく必要があります。

HTTP または HTTPS を使用したファイル転送機能は、Cisco IOS **copy** コマンドおよびコマンドラインインターフェイスを使用して、リモート サーバから使用するローカルルーティング デバイスへ、またはその逆の方向に、Cisco IOS イメージファイルやコア ファイル、コンフィギュレーション ファイル、ログ ファイル、スクリプトなどのファイルをコピーする機能を提供します。HTTP コピー操作は、FTP や TFTP など、他のリモート ファイル システムからのコピーと同じように動作します。

HTTP コピー操作では、HTTP セキュア転送に埋め込み HTTPS クライアントを使用して、Public Key Infrastructure (PKI; 公開鍵インフラストラクチャ) のコンテキスト内でのセキュアな認証済みファイル転送を行えます。

HTTP または HTTPS を使用したファイル転送方法

ここでは、次の各手順について説明します。

- 「[ファイル転送の HTTP 接続特性の設定](#)」(P.3) (必要な場合)
- 「[HTTP または HTTPS を使用したリモート サーバからのファイルのダウンロード](#)」(P.5) (必須)
- 「[HTTP または HTTPS を使用したリモート サーバへのファイルのアップロード](#)」(P.7) (必須)
- 「[HTTP を使用したファイル転送の維持とモニタリング](#)」(P.9) (任意)



(注)

接続にユーザ名とパスワードを要求するサーバとの HTTP 接続では、HTTP を使用したファイル転送機能を使用するために、ユーザ名とパスワードの指定が必要な場合があります。デフォルト設定を使用できますが、カスタム接続特性を指定するコマンドも使用できます。接続とファイルの監視とメンテナシスのためのコマンドも準備されています。

ファイル転送の HTTP 接続特性の設定

HTTP ファイル転送用に、デフォルト値が設定されています。次の作業では、接続特性を使用中のネットワーク用にカスタマイズし、使用するユーザ名とパスワード、接続プライオリティ、リモートプロキシサーバ、発信元インターフェイスを指定します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ip http client connection {forceclose | idle timeout seconds} [timeout seconds]**
4. **ip http client username *username***
5. **ip http client password *password***
6. **ip http client proxy-server {proxy-name | ip-address} [proxy-port *port-number*]**
7. **ip http client source-interface *interface-id***
8. **do copy running-config startup-config**
9. **end**

■ HTTP または HTTPS を使用したファイル転送方法

手順の詳細

コマンドまたはアクション		目的
ステップ1	enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 <ul style="list-style-type: none"> プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
	例： Router> enable	
ステップ2	configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
	例： Router# configure terminal	
ステップ3	ip http client connection {forceclose idle timeout seconds timeout seconds}	すべてのファイル転送について、リモート HTTP サーバへの HTTP クライアント接続の特性を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> forceclose : デフォルトの持続的接続をディセーブルにします。 idle timeout seconds : アイドル接続の許容時間を 1 秒から 60 秒の範囲で設定します。デフォルト タイムアウトは 30 秒です。 timeout seconds : HTTP クライアントの接続待ち時間の上限を 1 秒から 60 秒の範囲で設定します。デフォルトは 10 秒です。
ステップ4	ip http client username username	ユーザ認証を要求する HTTP クライアント接続で使用するユーザ名を指定します。 <p>(注) CLI で copy コマンドを発行するときにユーザ名を指定することもできます。その場合、そこで入力されるユーザ名がこのコマンドの設定を上書きします。例として、「HTTP または HTTPS を使用したリモート サーバからのファイルのダウンロード：例」(P.10) を参照してください。</p>
ステップ5	ip http client password password	ユーザ認証を要求する HTTP クライアント接続で使用するパスワードを指定します。 <p>(注) CLI で copy コマンドを発行するときにパスワードを指定することもできます。その場合、そこで入力されるパスワードがこのコマンドの設定を上書きします。例として、「HTTP または HTTPS を使用したリモート サーバからのファイルのダウンロード：例」(P.10) を参照してください。</p>

コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6 <code>ip http client proxy-server {proxy-name ip-address} [proxy-port port-number]</code>	HTTP ファイルシステム クライアント接続のために HTTP クライアントをリモート プロキシ サーバに接続するよう設定します。 <ul style="list-style-type: none"> オプションの proxy-port port-number キーワードおよび引数で、リモート プロキシ サーバのポート番号を指定します。
例： Router(config)# ip http client proxy-server edge2 proxy-port 29	
ステップ 7 <code>ip http client source-interface interface-id</code>	すべての HTTP クライアント コネクションの送信元アドレスにインターフェイスを指定します。
例： Router(config)# ip http client source-interface Ethernet 0/1	
ステップ 8 <code>do copy running-config startup-config</code>	(任意) 実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーション ファイルとして保存します。 <ul style="list-style-type: none"> do コマンドを使用すると、グローバル コンフィギュレーション モードで特権 EXEC モード コマンドを実行できます。
ステップ 9 <code>end</code>	コンフィギュレーション セッションを終了し、CLI をユーザ EXEC モードに戻します。
例： Router(config)# end Router#	

HTTP または HTTPS を使用したリモート サーバからのファイルのダウンロード

HTTP または HTTPS を使用してリモート サーバからファイルをダウンロードするには、次の作業を行います。 **copy** コマンドで、どのようなファイルでもコピー元からコピー先へコピーすることができます。

手順の概要

- enable**
- copy [/erase] [/noverify] http://remote-source-url local-destination-url**
または
copy https://remote-source-url local-destination-url

■ HTTP または HTTPS を使用したファイル転送方法

手順の詳細

コマンドまたはアクション	目的
ステップ1 enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 <ul style="list-style-type: none"> プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2 copy [/erase] [/noverify] http://remote-source-url local-destination-url または copy https://remote-source-url local-destination-url 例： Router# copy http://user1:mypassword@209.165.202.129:8080/image_files/c7200-i-mx flash:c7200-i-mx 例： Router# copy copy https://user1:mypassword@209.165.202.129:8080/image_files/c7200-i-mx flash:c7200-i-mx	HTTP または HTTPS を使用して、リモート Web サーバからローカルファイルシステムへファイルをコピーします。 <ul style="list-style-type: none"> /erase : コピー前にローカルのコピー先ファイルシステムを消去します。このオプションは、限られたメモリ容量のクラス B ファイルシステムプラットフォーム用に準備されたもので、ローカルのフラッシュメモリースペースを簡単にクリアできます。 /noverify : コピーするファイルがイメージファイルの場合、このキーワードを使用すると、イメージがコピーされた後に発生するイメージの自動確認がディセーブルになります。 remote-source-url 引数は、コピーするファイルのコピー元の位置を示す URL (またはエイリアス) で、標準の Cisco IOS ファイルシステムの HTTP 構文では次のようにになります。 http://[[username:password]@] {hostname host-ip}[/filepath]/filename <p>(注) オプションの username および password 引数は、ユーザ認証が必要な HTTP サーバにログインするときに使用され、ip http client username および ip http client password グローバルコンフィギュレーションコマンドによるこれらの認証ストリング指定の代わりになります。</p> local-destination-url は、コピーするファイルを置く位置の URL (またはエイリアス) で、標準の Cisco IOS ファイルシステムの HTTP 構文では次のようにになります。 filesystem:[/filepath][/filename] <p>(注) copy コマンド使用時の URL 構文について、詳しくは「その他の関連資料」(P.11) を参照してください。</p>

トラブルシューティングのヒント

リモート Web サーバからのファイル転送に失敗した場合、次の点を確認します。

- ルータとインターネットとの接続はアクティブか。
- 正しいパスとファイル名が指定されているか。
- リモート サーバがユーザ名とパスワードを要求しているか。
- リモート サーバに非標準のコミュニケーション ポートが設定されていないか (HTTP のデフォルト ポートは 80、HTTPS のデフォルト ポートは 443)。

失敗したコピー要求の原因を判別できるよう、CLI はエラー メッセージを返します。コピー プロセスについての追加情報は、**debug ip http client all** コマンドで表示できます。

HTTP または HTTPS を使用したリモート サーバへのファイルのアップロード

HTTP または HTTPS を使用してリモート サーバへファイルをアップロードするには、次の作業を実行します。

手順の概要

1. **enable**
2. **copy [/erase] [/noverify] local-source-url <http://remote-destination-url>**
または
copy local-source-url <https://remote-destination-url>

■ HTTP または HTTPS を使用したファイル転送方法

手順の詳細

コマンドまたはアクション		目的
ステップ1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 <ul style="list-style-type: none"> • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	copy [/erase] [/noverify] local-source-url http://remote-destination-url または copy local-source-url https://remote-destination-url 例： Router# http://user1:mypassword@209.165. 202.129:8080/image_files/c7200-i-mx_backup 例： Router# copy flash:c7200-i-mx http://user1:mypassword@209.165. 202.129:8080/image_files/c7200-i-mx_backup	HTTP または HTTPS を使用して、ローカル ファイルシステムからリモート Web サーバへファイルをコピーします。 <ul style="list-style-type: none"> • /erase : コピー前にローカルのコピー先ファイルシステムを消去します。このオプションは、限られたメモリ容量のクラス B ファイルシステム プラットフォーム用に準備されたもので、ローカルのフラッシュ メモリースペースを簡単にクリアできます。 • /noverify : コピーするファイルがイメージ ファイルの場合、このキーワードを使用すると、イメージがコピーされた後に発生するイメージの自動確認がディセーブルになります。 • local-source-url 引数は、コピーするファイルのコピー元の位置を示す URL (またはエイリアス) で、標準の Cisco IOS ファイル システムの構文では次のようにになります。 http://[[username:password]@] {hostname host-ip}[/filepath]/filename <p>(注) オプションの <i>username</i> および <i>password</i> 引数は、ユーザ認証が必要な HTTP サーバにログインするときに使用され、ip http client username および ip http client password グローバル コンフィギュレーション コマンドによるこれらの認証ストリング指定の代わりになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • remote-destination-url は、コピーするファイルを置く位置の URL (またはエイリアス) で、標準の Cisco IOS ファイル システムの HTTP 構文では次のようにになります。 filesystem:[/filepath][/filename] <p>(注) copy コマンド使用時の URL 構文について、詳しくは「その他の関連資料」(P.11) を参照してください。</p>

トラブルシューティングのヒント

リモート Web サーバからのファイル転送に失敗した場合、次の点を確認します。

- ルータとインターネットとの接続はアクティブか。
- 正しいパスとファイル名が指定されているか。
- リモート サーバがユーザ名とパスワードを要求しているか。
- リモート サーバに非標準のコミュニケーション ポートが設定されていないか (HTTP のデフォルト ポートは 80、HTTPS のデフォルト ポートは 443)。

失敗したコピー要求の原因を判別できるよう、CLI はエラー メッセージを返します。コピー プロセスについての追加情報は、**debug ip http client all** コマンドで表示できます。

HTTP を使用したファイル転送の維持とモニタリング

HTTP 接続の維持と監視を行うには、次の作業を実行します。ステップ 2 から 4 は任意の順序で実行できます。

手順の概要

1. **enable**
2. **show ip http client connection**
3. **show ip http client history**
4. **show ip http client session-module**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	show ip http client connection 例： Router# show ip http client connection	アクティブな HTTP クライアント接続の詳細を表示します。
ステップ 3	show ip http client history 例： Router# show ip http client history	HTTP クライアントがアクセスした URL のうち最新の 20 を表示します。
ステップ 4	show ip http client session-module 例： Router# show ip http client session-module	HTTP クライアントで登録されたセッション（アプリケーション）の詳細を表示します。

HTTP または HTTPS を使用したファイル転送の設定例

ここでは、次の設定例について説明します。

- 「ファイル転送の HTTP 接続特性の設定：例」 (P.10)
- 「HTTP または HTTPS を使用したリモート サーバからのファイルのダウンロード：例」 (P.10)
- 「フラッシュからリモート HTTP サーバへのファイルアップロード：例」 (P.10)
- 「リモート HTTP サーバからフラッシュ メモリへのファイルダウンロード：例」 (P.11)

ファイル転送の HTTP 接続特性の設定：例

次の例に、全ユーザの認証を行うリモート サーバへの接続のために HTTP パスワードとユーザ名を設定する方法を示します。この例はまた、接続のアイドル時間制限を 20 秒に設定する方法も示しています。HTTP クライアントの接続待ち時間の上限は、デフォルトの 10 秒のままでです。

```
Router(config)# ip http client connection idle timeout 20
Router(config)# ip http client password Secret
Router(config)# ip http client username User1
Router(config)# do show running-config | include ip http client
```

HTTP または HTTPS を使用したリモート サーバからのファイルのダウンロード：例

次の例に、ファイル c7200-i-mx をリモート サーバから HTTP を使用してフラッシュ メモリへコピーする設定方法を示します。この例はまた、ユーザ認証を行う HTTP サーバ用にコマンドラインからユーザ名とパスワードを入力する方法も示しています。

```
Router# copy http://user1:mypassword@209.165.202.129:8080/image_files/c7200-i-mx
flash:c7200-i-mx
```

フラッシュからリモート HTTP サーバへのファイルアップロード：例

次の例に、フラッシュ メモリからリモート HTTP サーバへファイルをコピーする方法を示します。この例は、**copy** 特権 EXEC コマンドを使用したファイル転送で予想されるプロンプトと表示内容を示しています。

```
Router# copy flash:c7200-js-mz.ELL2 http://172.19.209.190/user1/c7200-js-mz.ELL2

Address or name of remote host [172.19.209.190]?
Destination filename [user1/c7200-js-mz.ELL2]?
Storing http://172.19.209.190/user1/c7200-js-mz.ELL2 !!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!
17571956 bytes copied in 57.144 secs (307503 bytes/sec)
```

リモート HTTP サーバからフラッシュ メモリへのファイル ダウンロード: 例

次の例は、リモート HTTP サーバからフラッシュ メモリへファイルをコピーする方法を示しています。この例は、**copy** 特権 EXEC コマンドを使用したファイル転送で予想されるプロンプトと表示内容を示しています。

```
Router# copy http://172.19.209.190/user1/c7200-i-mz.test flash:c7200-i-mz.test

Destination filename [c7200-i-mz.test]?
Loading http://172.19.209.190/user1/c7200-i-mz.test
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
!!!!
.
.
.
11272788 bytes copied in 527.104 secs (21386 bytes/sec)
```

HTTP または HTTPS を使用したリモート サーバへのファイルのアップロード

次の例は、HTTP または HTTPS を使用してファイルをリモート サーバにコピーする方法を示しています。

```
router#copy flash: http:
Source filename []? running-config
Address or name of remote host []? 10.1.102.1 Destination filename [pilot-config]?file1 ...
```

他の関連資料

ここでは、HTTP または HTTPS を使用したファイル転送に関する情報について説明します。

■ その他の関連資料

関連資料

関連項目	参照先
セキュアな HTTP コミュニケーション	『HTTPS—HTTP Server and Client with SSL 3.0』
Cisco IOS 埋め込み Web サーバ	『HTTP 1.1 Web Server and Client』
Cisco IOS 埋め込み Web クライアント	『HTTP 1.1 Client』
ネットワーク管理コマンド：完全なコマンド構文、コマンドモード、コマンド履歴、デフォルト、使用上の注意、例	『Cisco IOS Network Management Command Reference』
コンフィギュレーション基礎コマンド：完全なコマンド構文、コマンドモード、コマンド履歴、デフォルト、使用上の注意、例	『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference』

規格

規格	タイトル
この機能によりサポートされた新規標準または改訂標準はありません。またこの機能による既存標準のサポートに変更はありません。	—

MIB

MIB	MIB リンク
なし	選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、および機能セットに対する MIB を特定してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 http://www.cisco.com/go/mibs

RFC

RFC	タイトル
RFC 2616	『Hypertext Transfer Protocol -- HTTP/1.1』、R.Fielding, et al.
RFC 2617	『HTTP Authentication: Basic and Digest Access Authentication』、J. Franks, et al.

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none">• テクニカル サポートを受ける• ソフトウェアをダウンロードする• セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ 製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける• ツールおよびリソースへアクセスする<ul style="list-style-type: none">– Product Alert の受信登録– Field Notice の受信登録– Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索• Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する• トレーニング リソースへアクセスする• TAC Case Collection ツールを使用して、ハード ウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な 問題をインタラクティブに特定および解決する <p>この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/techsupport</p>

HTTP または HTTPS を使用したファイル転送の機能情報

表 1 に、このモジュールに記載されている機能および具体的な設定情報へのリンクを示します。この表には、Cisco IOS Release 12.2(1) 以降のリリースで導入または変更された機能だけを示します。

ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースによっては、コマンドの中に一部使用できないものがあります。特定のコマンドのサポートの導入時期に関する詳細については、コマンド リファレンス マニュアルを参照してください。

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェア イメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator を使用すると、Cisco IOS ソフトウェア イメージおよび Catalyst OS ソフトウェア イメージがサポートする特定のソフトウェア リリース、機能セット、または プラットフォームを確認できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/fn> からアクセスしてください。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



表 1 には、一連の Cisco IOS ソフトウェア リリースのうち、特定の機能が初めて導入された Cisco IOS ソフトウェア リリースだけが記載されています。特に明記していない限り、その機能は、一連の Cisco IOS ソフトウェア リリースの以降のリリースでもサポートされます。

表 1 HTTP または HTTPS を使用したファイル転送の機能情報

機能名	リリース	機能情報
HTTP を使用したファイルのダウンロード	12.3(2)T	<p>HTTP を使用したファイルのダウンロード機能により、HTTP サーバから Cisco IOS ソフトウェアベースのプラットフォームへファイルをコピーできます。</p> <p>この機能に関する詳細については、次の項を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「HTTP または HTTPS を使用したリモート サーバからのファイルのダウンロード」(P.5)

表 1 HTTP または HTTPS を使用したファイル転送の機能情報（続き）

機能名	リリース	機能情報
HTTP を使用したファイルのアップロード	12.3(7)T	<p>この機能に関する詳細については、次の項を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「HTTP または HTTPS を使用したリモート サーバへのファイルのアップロード」(P.7)
HTTP を使用したファイル転送	12.3(7)T	<p>HTTP を使用したファイル転送機能は、Cisco IOS copy コマンドおよびコマンドラインインターフェイスを使用して、リモートサーバから使用するローカルルーティングデバイスへ、またはその逆の方向に、Cisco IOS イメージファイルやコアファイル、コンフィギュレーションファイル、ログファイル、スクリプトなどのファイルをコピーする機能を提供します。HTTP コピー操作は、FTP や TFTP など、他のリモートファイルシステムからのコピーと同じように動作します。</p> <p>この機能は、Cisco IOS ソフトウェアベースのプラットフォームから、HTTP と HTTPS のいずれかを使用して、HTTP サーバへファイルをコピーすることをサポートします。</p> <p>この機能に関する詳細については、次の各項を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「HTTP または HTTPS を使用したファイル転送について」(P.2) 「HTTP または HTTPS を使用したファイル転送方法」(P.2)

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一一致によるものです。

© 2005–2009 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2005–2011, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.

■ HTTP または HTTPS を使用したファイル転送の機能情報